

令和4年度(第12期)
事業報告書

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会

1.事業の概況

新型コロナウイルス感染症の収束をみない状況が続いたこと、同時に国庫補助事業として重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業を行ったことから、例年実施していた公開事業については状況に応じ中止または規模縮小した。公開による収入が減少し厳しい運営状況の中、工事費用についてはクラウドファンディング並びに募金を行いその確保に努めた。

保全事業は、前述の国庫補助事業を第1期工事として進めた。工事費用は、昨年度に引き続きクラウドファンディングでの募金を実施(令和4年9月1日～10月28日)、452名から10,570,000円、並びに当財団口座への直接の寄付は13,724,000円となり予算額を大きく上回った。前年度に引き続き耐震診断調査に基づく耐震補強の検討並びに施工を進めた。次年度の第2期工事における耐震補強に対しては非破壊調査も行い補強内容を検討した。工事の調査報告書については昨年度に引き続き『杉本家住宅調査報告書』作成プロジェクトとして京都工芸繊維大学 KYOTO Design Labと連携し、建物全体の3Dレーザースキャナー、ドローンによるデータの集積、工事経過の記録などを進めた。大掃除はコロナ感染状況を鑑みつつ、例年通り京都女子大学との連携、あるいは企業との連携をしつつ行った。建具替えは、工事による粉塵の室内進入防止の為、見送った。

名勝庭園の保全について、座敷庭、露地庭の仮設素屋根足場の接地面に養生を施したが、日照不足、粉塵を被るなど、苔、樹木の枯れ、生育不良が見受けられ、工事中並びに工事後の復旧について検討を行った。庭園の保全費の確保は依然として厳しく、専門職人の稼働日数及び人数を調整しながら保全に努めた。

公開事業は、コロナ感染症の未終息と工事中であることから、例年開催の年中行事の特別一般公開の内、端午の節句の開催は見送った。祇園祭は屏風飾りを行わず、夏室礼と工事状況の解説付きの公開とした。公開時間前に整理券を配布し、時間制・人数制限を設け、コロナ感染防止対策(受付での検温、マスク必着、アルコール消毒など)を徹底した。同時に建物への負荷や展示道具類の保護を十分に配慮しつつ実施した。『虹の会』、『京都の文化財を守る会』のボランティア解説員の協力を得た。

祇園祭伯牙山に関連する行事は、山鉦建て、町会所飾りは例年通り、巡行は3年ぶりに復活した。この他、年度を通して、直接の問い合わせに対して随時見学を受け入れた。

ホームページ(日本語・英語)、出版物・新聞・テレビなどを通じて公開に努めた。

大学との事業連携として公開講座への協力並びに民間企業とのコラボ、商品開発に協力。また、地元小学校・大学の学外授業への協力、小・中学校の研修旅行のテーマ学習への協力など、学校法人の会員継続による連携事業への取り組みは、当財団にとって意義あるものである。以上のように公開事業を積極的に行うことで、広く町家保存の理解を深めると同時に、建物の維持保存に必要な財源の確保に努めた。

収益事業について、米蔵の京都女子大学KOMEGLAキャンパスは、コロナ影響で学生の出入りのある使用は見送られたが、京都女子大学生活デザイン研究所によるレトロ照明器具展が開催された。次年度以降、本格的な使用計画が推進される見込みである。

次年度以降、2年度に渡る工事終了後の公開事業の体制を整えるべく、保存事業の一環として、定期的な公開の再開、喫茶(有料)でのオリジナル甘酒などの提供、関連グッズの商品開発などを京都市『伝統産業の未来を繋ぐ「京都市伝統産業未来構築事業」』の補助金を得て、当財団を中心として地元老舗食品製造販売会社3社との事業連携『京都市伝統産業未来構築かけ橋グループ』として進めた。

会員組織について、既存会員の集いの機会として3年ぶりに会員のつどいを開催した。

新規会員の募集、既存会員への継続勧奨など、会員組織の拡充に取り組んだものの、コロナ影響により新規入会者数は伸び悩んだ。昨今、京都市の観光行政の影響から、京都市内の歴史ある京町家の取り壊しの例が顕著となり、伝統建築遺構ならびに町衆文化の維持保存と伝承に努める当財団の活動に対して関心が寄せられるよう、会員組織の拡充になお一層の努力を続けたい。

令和4年度第12期の無事終了に対し、関係諸機関ならびに関係各位に深く感謝と敬意を表します。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

以上

令和4年度(第12期 自令和4年4月1日～至令和5年3月31日)
事業報告書

祇園祭山鉦町最大規模の町家遺構である杉本家住宅とその環境を保存・公開し、商家独特の諸行事の継承・保存・公開を行い、併せて町人文化を研究・調査し、もって地域の伝統文化の振興及び学術文化の発展に寄与することを目的(定款第3条)とする当財団の設立主旨に基づき、令和4年度は以下の事業を行った。

事業(定款第4条)

- (1) 杉本家住宅及び庭園の保存・公開
- (2) 杉本家伝来の調度類及び什器の保存・公開
- (3) 商家独特の諸行事及びその関連諸行事の継承・保存・公開
- (4) これらの資料に基づく町家遺構と町人文化の調査・研究の報告書等の作成及び刊行
- (5) 杉本家及び日本の伝統文化に関する物品の提供
- (6) その他、目的を達成するために必要な事業

定款に基づく上記の事業について、以下6つの区分をもって事業活動を行うものとする。主たる庶務事項は別紙[資料1]の通り。

(1) 保全

- 1) 修理・整備・保全[資料2]
- 2) 自動火災報知装置の点検(年2回)8月19日・1月29日
消火器の点検(年1回)5月17日、消火器交換5月26日
- 3) 庭園管理(植木剪定、薬剤散布、寒肥え)
5月19・26日、7月8日・27日、11月25～27日、12月26日、2月8～10日、3月26日
- 4) 大掃除 6月18日・11月14日
①6月18日 コロナ禍により大掃除は規模縮小し少人数で午前・午後の2班で実施。
②11月14日 京都女子大学、株式会社凸版印刷、株式会社サンコーとの産学提携事業として、町家掃除をテーマにした商品開発の実験的作業に対する協力。
- 5) その他設備の点検・撤去・新設
①主屋電気旧配線の点検・撤去 7月4日、1月12日 ②ガスコック新設 1月28日

(2) 継承保存

- 1) 年中行事一正月・節分・上巳節句・端午節句・祇園祭・彼岸会・すす払い(6月・12月)・盂蘭盆会
※端午節句は節句飾り無し、建具替えの実施無し
- 2) 祇園祭「伯牙山お飾り所(店の間)」ならびに関連諸行事
①伯牙山ちまき準備、伯牙山保存会寄り合い 7月3日 ②お飾り所 7月14日～18日
- 3) 宿場入り「奈良屋創業記念日床飾り」・「祝い膳」8月5日
- 4) 報恩講「仏壇荘厳」11月26日

(3) 公開

- 1) 杉本家住宅の公開[資料3]
①「花の京町家」公開の開始
②「京都市伝統産業未来構築事業 かけ橋グループ」による企画商品開発ならびに有料喫茶席(新設)での商品提供
③オリジナルグッズ並びに縁戚関係の食品製造販売先商品の販売
- 2) 奈良屋創業期資料の展覧(常設—奈良屋看板、古文書類等)
- 3) 年中行事の公開[資料4]
- 4) 出版物等に対する資料等の公開[資料5]
- 5) 事業連携[資料6]

(4) 収益事業

米蔵の賃貸 学校法人京都女子学園『KOMEGLA キャンパス』令和2年11月1日～令和5年10月31日の3ヶ年契約、以降継続は随意。今年度はコロナ感染症拡大により、学生の授業関連での使用は見送り。3月から一般公開『花の京町家』の公開日と連動させて KOMEGLA キャンパス『レトロ照明器具展』(京都女子大学生活デザイン研究所主宰)開催(入場無料)、公開日数9日間、入場者数301名。

(5) 調査研究

- 1) 建造物ならびに古文書類・伝来調度類の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行[資料7]
- 2) 防災対策に係る調査・研究及び検討

(6) 会員組織

- 1) 維持会員[資料8]
- 2) 会員対象「会員のつどい」などの開催
- 3) 受取寄附金[資料9]
- 4) 機関誌「綾小路」第26号の発行(未発行)

資料1 主たる庶務事項

理事会・評議員会

第28回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日 令和4年6月18日

第1号議案 令和3年度事業報告の件

第2号議案 令和3年度収支決算の件

第3号議案 第13回評議員会の決議省略の件

議案 第1号議案 令和3年度事業報告の件

第2号議案 平成3年度収支決算の件

報告事項 代表理事、業務執行理事(常務理事)の職務執行状況について以降の実開催の評議員会で報告される件

報告事項 代表理事、業務執行理事(常務理事)の職務執行状況について以降の実開催の理事会で報告される件

第13回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和4年6月28日

第1号議案 令和3年度事業報告の件

第2号議案 令和3年度収支決算の件

報告事項 代表理事、業務執行理事(常務理事)の職務執行状況について以降の実開催の評議員会で報告される件

第29回理事会 令和5年3月22日開催:於 杉本家住宅座敷

第1号議案 令和5年度(第13期)事業計画の承認の件

第2号議案 令和5年度(第13期)収支予算の承認の件

第3号議案 その他

報告事項 代表理事、業務執行理事の職務執行状況について

資料2 修理・整備・保全

国庫補助事業・京都府補助事業 (別冊 資料2)

大屋根葺替工事に関わる会議(京都府文化財保護課、安井杵工務店、当財団)において、工事進捗、確認を行った。

4月7日、4月21日、5月12日、5月26日、6月8日、6月20日、7月5日、7月21日、8月18日、9月2日、9月16日、9月29日、10月26日、11月10日、11月28日

1. 国宝重要文化財等保存・活用事業

①事業の名称:重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業

補助金交付申請:令和4年2月1日

補助事業の目的及び内容:重要文化財杉本家住宅主屋及び附高塀の保存の為、総事業費

195,000,000 円、うち令和4年度事業費100,000,000 円(主たる事業費99,932,800 円、その他経費67,200 円)による屋根葺替・部分修理の実施。

交付申請額:80,000,000 円(補助対象経費100,000,000 円の80%)

補助事業経費の使用方法:京都府教育委員会に委託(期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日)

交付決定・受託:令和4年4月1日

工事着手:令和3年11月1日/工事完了:令和5年3月31日

補助金額の確定:令和4年4月28日

委託期間の変更:令和4年4月1日～令和5年10月30日

計画変更申請:令和5年1月16日/計画変更承認:令和5年1月26日

計画変更申請:令和5年3月24日/計画変更承認:令和5年4月28日

②名勝杉本氏庭園の保全

大屋根工事の仮設素屋根設営により、座敷庭、露地庭の地面の傷み、植栽と苔の一部が枯れたり、生育不良などが発生した為、対応を検討。10月24日京都府名勝担当者、尼崎博正氏(日本庭園・歴史遺産研究センター名誉教授)による工事による影響について現地視察、京都府建造物担当者、工務店同席で対応の協議。10月31日名勝管理について京都府との協議。砂雪隠の解体修理。

2. 京都府文化財保存費補助事業

①事業の名称:重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業

補助金交付申請:令和5年3月13日

交付申請額:1,000,000円

交付決定:令和5年3月23日

補助金額の確定:令和5年4月21日

②国指定文化財維持管理費補助事業(京都府)

内容:①防災施設保守点検等(126,500円)能美防災

②名勝庭園の手入れ(330,000円)京都庭園研究所、庭屋佐野健介

実施期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日

交付申請:令和5年1月4日

決定通知:令和5年2月10日

確定通知:令和5年3月23日

補助金額:157,000円(所有者負担 299,500円)

資料3 杉本家住宅の公開(見学・取材・その他)

1. 公開(一般・会員)

①一般公開

新型コロナウイルス感染症の収束をみない状況が続いたこと、同時に杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業として修理工事を開始したことから、例年実施していた公開事業については状況に応じ中止または規模縮小した。公開事業は、コロナ感染症の未収束と工事中であることから、例年開催の年中行事の特別一般公開の内、端午節句展の開催は見送った。祇園祭は屏風飾りを行わず、夏室礼と工事工程の解説付きの公開とした。公開時間前に整理券を配布し、時間制・人数制限を設けた。3月8日を「町家の日」(主催:町家の日普及実行委員会)とする公開催見学会に協力。3月から、新しい公開企画として、住宅裏庭などで栽培する草花を季節折々に室礼する「花の京町家」を毎週3日間(金・土・日)の実施を開始。

②有料喫茶席の新設・オリジナルグッズの企画・販売

「花の京町家」開始と同時に、邸内に有料喫茶席を新設。「京都市伝統産業未来構築事業 かけ橋グループ」(資料6)による企画商品開発ならびに有料喫茶席(新設)での商品提供新しいオリジナルグッズの販売を開始。杉本家と縁戚関係にある松北園(宇治市木幡)の茶類、齊藤酒造(伏見区)の吟醸米麴で作ったオリジナル甘酒。亀屋良長(下京区)の大吟醸酒粕をブレンドした白餡使用の角杉焼き印のモナカ、平田染工(西京区)の京染め手拭い、杉浦商店(南区)の手提げ紙袋を提供。

③第1期工事が完了し、会員対象の文化サロンを3年ぶりに開催、参加者16名。令和5年度に向けての事業計画などについて説明。継続しての支援を勧奨する。

2. 見学・取材・その他

【5月】※特別一般公開端午の節句展中止

- 3日 写真撮影下見3名
- 11日 修学旅行下見(神奈川学園高等学校)教員2名
- 14日 京町家再生研究所見学21名
- 15日 写真撮影1名
- 19日 エコハウス見学4名
- 24日 催事下見(リンクアップ)3名

【6月】18日 大掃除(京都女子大学連携事業)午前15名、午後13名
※取材 NHK 京都放送局、KBS 京都、京都新聞、朝日新聞

【7月】9・10日 THE KYOTO クラウドファンディング見学会7名

【8月】6日 烏賀陽百合子氏の案内による特別見学会(まいまい京都)18名
見学下見(東京外国語大学)2名
22日 京都女子大学サマープログラム 留学生18名、教員ほか5名
見学下見(ファッションホテル)2名

【9月】1日 READYFOR クラウドファンディング開始(~10月28日)

- 6日 テレビ取材(MBS テレビ『おかえり』)生中継※大屋根工事とクラウドファンディング
- 8日 テレビ取材下見(KBS 京都)
- 12日 外部主催ガイド研修下見(マジカルツアー)2名
- 19日 外部主催ガイド研修(マジカルツアー)5名
京都市観光協会ご紹介 ANA ツアー見学中止
- 30日 テレビ取材下見(テレビマンユニオン)1名

【10月】7日 出口様見学(会員)2名

- 12日 佛教大学歴史遺産学科学外授業29名
- 13日 小倉様見学(クラウドファンディング寄付者)1名
- 17日 テレビ取材(テレビマンユニオン)4名、鯖寿司実演などの動画撮影
- 24日 京都女子大学生活デザイン研究所、凸版印刷、サンコーによる産学連携による町家に適した掃除道具の開発について会合
- 27日 クラブツーリズム見学21名
- 28日 京都芸術大学歴史遺産科(通信学部)動画配信用撮影

【11月】2日 佛教大学歴史遺産学科学外授業29名

- クラブツーリズム見学16名
- 3日 京都府立大学和食文化学科30名
- 4日 クラブツーリズム23名、クラブツーリズム関西15名
- 7日 クラブツーリズム関西20名、クラブツーリズム関西23名
- 14日 京都女子大学、凸版印刷、サンコーによる産学連携による町家に適した掃除道具の開発について実証の為の大掃除8名(学生)※資料6
- 15日 神奈川学園高校16名
- 19日 京都産業大学18名
- 28日 見学2名

【12月】3日 古文書資料閲覧(鈴木栄樹様ほか1名)

- 7日 佛教大学歴史遺産学科学外授業28名
- 12日 大屋根葺替工事竣工検査(京都府文化財保護課)
- 15日 テレビ取材下見(NHK)1名
- 17日 京都芸術大学歴史遺産学科学外授業(通信)動画配信撮影2名
- 19日 名勝庭園復旧についての現場確認
- 22日 店舗部工事業者説明会
- 27日 京都府立大学食文化学科28名
年末年始休館(~1月10日)

- 【 1月】11日 かけ橋グループ(京都女子大学連携)打合せ
- 19日 耐震補強に関する協議 建築研究協会2名、鶴岡典慶氏、京都府1名
- 20日 外部催事相談(下京区長山本様)2名
- 21日 唐長創業400年記念事業関連襖紙調査※資料7
- 23日 外部催事打合せ(町家の日 高木様、生川様)打ち合わせ
- 24日 京都大学林教授による耐震診断検査視察
- 27日 店舗部工事会議 京都府1名、安井奎4名
- 29日 京都府和食文化学科20名
- 30日 工事に関する現場打合せ
- 【 2月】6日 仮設素屋根設営開始(~3月 日)
- 7日 KOMEGULA キャンパス『レトロ照明器具展』(京都女子大学生生活デザイン研究所主宰)展示品搬入
- 13日 京都芸術大学歴史遺産学科(通信)動画配信授業
- 18日 外部主催見学(地方代表新聞社支社長の会)14名
- 20日 観光庁補助金申請事業に関する会議1名
- 25日 公開時ボランティア研修会18名
- 27日 かけ橋グループ展示品の会場搬入。会期 3月2日~3月19日
- 【 3月】※1~※3 公開日数9日間 KOMEGULA キャンパス『レトロ照明器具展』(京都女子大学生生活デザイン研究所主宰)と連動公開 入場者数301名
- 3日 会員のつどい12名
- 4・5・6日 花の京町家(一般公開)※1
- 6日 読売新聞インタビュー取材
- 7日 外部主催見学(芦屋ヒルズ街歩きの会)17名
東京工芸大学17名
- 9日 事務所店舗棟から主屋2階へ引っ越し移動
- 10・11・12日 花の京町家(一般公開)※2
- 11日 町家の日自由見学会29名
- 12日 町家の日特別見学会30名
- 13日 東京工芸大学34名
- 13・14日 京都大学林教授による耐震診断検査
- 17・18・19日 花の京町家(一般公開)※3
- 19日 株式会社京都春秋「特別企画『京町家 食のならわしと年中行事』~上巳の節句(雛祭り杉本家住宅での雛の節句講座、木乃婦での会食 節句料理解説 高橋拓児氏×杉本節子
- 31日 京都中央信用金庫より修理事業に対する1000万円の寄付を受領

資料4 年中行事の公開

コロナ感染症拡大に鑑み、端午節句展は中止。

祇園祭は、山鉾巡行は3年振りに山鉾巡行が実施され、山鉾建て、店の間会所飾りは例年通りの運営。伯牙山お飾り所の拝観は、入り口でアルコール消毒を行った上、入場者数を10名程度に制限し、ベルトスタンドで仕切り回遊式観覧とする。当財団主催の屏風飾りは、屏風や諸道具類の陳列は行わず、大屋根工事の古材、工事進捗の動画などの解説を行った。

前祭—7月9日7名、10日6名、12日24名、15日152名、16日263名

後祭—22日24名、23日70名 ※祇園祭前後祭公開見学者総数546名

資料5 出版物等に対する資料等の公開

【公式 HP での情報公開】

新しい公開様式として定点カメラ撮影による360°視野画像の HP 公開 撮影:佐藤佑樹
新情報をお知らせとして随時更新並びに twitter、Instagram での情報発信

【クラウドファンディング・サイト】

THE KYOTO クラウドファンディング 令和3年3月以降継続的掲載

<https://the-kyoto.en-jine.com/projects/sugimotoke>

READYFOR 令和4年9月1日以降継続的掲載

<https://readyfor.jp/projects/sugimotoke2022>

【書籍】

『京町家の四季』(光文社知恵の森文庫 2000 年発行)kindle 版発行

『きょうの料理テキスト』6月号

「杉本節子の旬を味わう ストック食材でおばんざい、夏を楽しむ！彩り野菜おかず」

【新聞】

令和4年 9 月 17 日(土) 朝日新聞朝刊京都版 READYFOR クラウドファンディング開始

11 月 17 日(木) 朝日新聞朝刊14面市民版 京都女子大学生 国重文を大掃除

令和5年 3 月 25 日(土) 読売新聞朝刊1面 文化庁京都移転関連記事 杉本節子インタビュー

【テレビ】

令和4年 4 月 22 日 NHK 京コトはじめ「ふだん着の食 京のぶぶ漬け」NHK 総合杉本節子出演

6月17日 NHK きょうの料理「杉本節子の旬を味わう ストック食材でおばんざい」

6月24日 NHK きょうの料理「杉本節子の旬を味わう 夏を楽しむ！彩り野菜おかず」

7月16日 NHK BS 祇園祭特別番組、6月18日収録大掃除の様子

9月6日毎日放送「4 チャン TV」15 分間生中継 杉本歌子出演

9月13日 NHK 京都「ニュース 630 京いちに」15分間生中継 杉本節子出演

12月9日 NHK BS-1「おいしい東京」杉本節子出演

12月23日 NHK 京コトはじめ「京都の日常とおかず おばんざい」杉本節子出演

【その他】

令和4年5月20日 大丸松坂屋友の会情報 WEB マガジン JOY CLASS

「暮らしはんなり上ル伝統はんなり香ル 夏の暮らし」

<https://www.dmtomonokai.co.jp/magazine/tradition/>

資料6 事業連携

1. 京都女子大学地域連携課

10月18日 連携公開講座 午後1時30分～

京町家特別公開講座シリーズ第33回「女性が学ぶ京の町家文化」参加者25名

講師:杉本節子『重要文化財 京町家の大修理ークラウドファンディングへの挑戦！ー』

講師:吉澤健吉氏(京都産業大学日本文化研究所 客員研究員)

『少欲知足の人 平田精耕老師との思い出』

11月17日 連携公開講座 午後1時30分～

京町家特別公開講座シリーズ第34回『女性が学ぶ京の町家文化』参加者25名

講師:杉本歌子『杉本家住宅 どんどん焼け再建から 152 年をふりかえる』

講師:丸山 俊明 氏 (びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科 教授)

『平安京の街路が京都の通りに～木戸門の出現と消滅』

12月20日 連携授業 京都女子高校ウイステリア科

対象学年:高校1年生30名

講師:杉本歌子『未来(あす)への歩み～京商家杉本家の習いとくらし～』

講師:通崎 睦美氏(マリンバ奏者)『着物の楽しみ～アンティーク着物の世界』

2. 京都女子大学生生活デザイン研究所

①『町家に特化した掃除製品の提案・開発プロジェクト』

京都女子大学生生活デザイン研究所と凸版印刷との産学連携事業。

掃除用品メーカーのサンコーの製品を使い町家の格子、座敷の畳、障子の棧、おくどさんなど場所に応じて道具を変えながら掃除し、製品の使い心地や改良点などの意見発表。当会としては、若い世代が掃除体験を通して文化財を身近に感じ関心を向けてもらうことに期待。

②KOMEGULA キャンパス『レトロ照明器具展』

3. 京都市伝統産業未来構築事業 かけ橋グループ

世界に誇る京都の伝統産業を未来に継承・発展させ、持続可能な社会を構築していくため、令和4年度に「京都市伝統産業未来構築事業」開始。京都の伝統産業と重要文化財の連携による業界の活性化を目的とした「京都伝統産業未来構築かけ橋グループ」として京都市に補助申請、採択された。代表者杉本歌子。グループ事業者は、当財団、株式会社松北園茶店、齊藤酒造株式会社、亀屋良長株式会社。令和5年3月2日～3月19日、京都伝統産業ミュージアムにおいて令和4年度採択事業として成果披露(商品展示及び取組紹介)。

資料7 建造物ならびに古文書類・伝来調度類の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行

1. 建造物

①国庫補助事業『杉本家住宅調査報告書』

統括・調査監修:清水重敦(京都工芸繊維大学教授 当財団評議員)

技術指導:鶴岡典慶(京都女子大学教授 当財団理事)

3Dレーザースキャン、無人航空機撮影、データ編集

:バルナ・ゲルゲイ・ピーター(京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任研究員)

京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab(京都デザインラボ)と連携し、主として、主屋大屋根野地と小屋組の補修、軒先垂下の補修について調査報告書を作成。住宅の建築的特徴や今回の工事で失われてしまう様式や技法について、鶴岡教授の視察、指導を受けた。

4月3日、9日清水教授ら指導者2名、大学院生3名、学部生1名による主屋大屋根調査。5月21日バルナ氏による3Dレーザースキャン撮影。6月21日今回の集積データ取り扱いに関する申し合わせ。4月8日鶴岡教授による現場視察、瓦、土居葺についてなど工事に関する指導。

②耐震補強に関する構造的な把握のための非破壊調査

耐震補強箇所の軽減等について検討するための視察、調査。令和5年1月24日京都大学教授林康裕氏(京都大学教授)、杉野未奈氏(京都大学准教授)、鶴岡典慶氏による、店舗部の性能評価の為の調査に関する視察。杉野准教授と学生4～5名による非破壊調査3月13日、14日。

③蔵内害虫駆除調査

藤井義久教授(京都大学院農学研究科教授)

中蔵内に害虫捕獲器を設置し、継続的な状況の確認作業の実施。

5月26日設置、6月15・23日、8月2・25日、9月12日捕獲器内の結果記録。

④明日の京都文化遺産プラットフォーム(羅城門再建支援委員会、危機管理委員会)

京都盆地復水事業『天水バケツプロジェクト』への参画。

江戸時代の天水桶から着想。災害時の防災の観点から1杯のバケツの水を「初期消火」につなげる取り組み。雨水の樋からバケツへの貯水方法の開発と当住宅内における天水バケツ数か所の実用設置。貯水は平常時には打水や掃除に活用し使用後の汚水も庭へ散水し循環に配慮する方法であることから、令和3年度京都環境賞、地球温暖化対策賞(京都市)を受賞。天水活用が火事発生時の初期消火への防災意識を高める取り組みとして評価された。今年度も引き続き活動、9月4日新たに設置箇所を増設。

⑤他機関の調査への協力

令和5年1月21日「京唐紙師『唐長』所蔵史料の整理・分析および唐長作品の所在調査－『唐長創業 400 年』記念展開催準備のための調査研究」のための「京唐紙師『唐長』所蔵史料の整理・分析および唐長作品の所在調査。斎藤英俊氏(京都女子大学名誉教授)、出井豊二(京都女子大学名誉教授)、鶴岡典慶(京都女子大学教授)、小粥祐子氏(東京都公文書館専門員)による調査。

2. 古文書類の調査・研究

大屋根の瓦、葺土、土居葺の撤去を進める中で、明治3年以降に普請、作事が入った可能性があることから、4月上旬、明治3年以降の建造物の修理履歴についての記録の有無など、当古文書調査会員に資料データの検索・抽出を依頼。5月1日該当の資料内容の確認、撮影などを当学芸部長、古文書調査会より鈴木栄樹氏(京都薬科大学名誉教授)、牧知宏氏(住友史料館主席研究員)、宇佐美尚穂氏(株式会社宇佐美修徳堂取締役)、寺嶋一根氏(佛教大学教授)により行った。結果、今回、それに見合う内容を集積するには至らなかった。以降、引き続き、調査を継続する予定。

資料8 会員組織

1)令和4年度 新入会員数

年度	賛助会員	特別会員 (法人会員)	正会員	年度合計
4年度	0	0	0	0
3年度	1	0	12	13

2)令和4年度 継続会員数

	賛助会員	特別会員 (法人会員)	正会員	年度合計
4年度	4	2	153	159

資料9 受取寄附金 敬称略(平成4年4月1日～令和5年3月31日)

①クラウドファンディング

令和4年9月1日～10月28日実施 READYFOR
452名から10,570,000 円

②大屋根葺替工事修繕寄附

※1口1万円()内は口数

木田ミチル(2) 柳澤紀子(5) 田野護(3)
NPO 法人京町家再生研究会(3) 河合智矢 上倉庸敬(2) 稲葉叡次子(2)
笹島真基子 株式会社浜作森川裕之 鈴木寿一 横地卓哉 佐藤百 西島大美
谷岸紀子 齊藤洸 中山利恵 渡辺真幸 池本光榮 淵元結花
Magicaltrip 株式会社蜂谷翔音 梅沢正義 上田昌史 村井真知子
上遠野洋子 富岡 伸一(3) 富岡 洋美(2) 鹿田崇史
山北雅美 宮崎忠芳(30) 芝原玄記(5) 原章二(5) 倉森治(5)
依田常雄 相馬百合子 前田照美(50) 中島謙一
西川秀雄(10) 中川布実子 岡部早織 國松喜代子 久寝安代(3) 中川布実子
岡村英子(3) 奥野和美(10) 柴原良夫 渡里尚人(2)
日比幸子 佐藤基(2) 京都中央信用金庫(1,000)

※任意金額

杉江誠(2,000 円) 出口孝二郎(7,000 円) 岡田美保(5,000 円) 亀山治夫(5,000 円)

以上